



インバータ駆動NSパック インバータ駆動省エネ可変ポンプユニット

“インバータ駆動NSパック”は省エネユニットNSパックへのインバータ駆動の追加により、標準ユニット対比で約68%（保圧時、当社比）の省エネルギー化を実現した油圧ユニットです。
保圧時間の長いアプリケーションに最適です。

特 長

油温上昇を室温+3.5℃に低減

油温の上昇を低減することにより、機械加工精度の向上、シール部品や作動油の長寿命化、工場内の空調費削減などに貢献します。

- NSP-30E-37V2A4-17
- 7MPa連続保圧時

簡単操作

電源を投入するだけで運転が可能。
圧力調整後に1回のボタン操作を行うだけで最適な省エネ運転を行います。

モニタ機能（IoT対応）

インバータのRS-485通信ポートと接続することで、電力、圧力などの運転状態をはじめ、アラーム、メンテナンス情報などのモニタが可能です。

インバータを切り離れた状態でも運転可能

信頼のNSパックをベースにしているため、インバータトラブルの際も電源配線をモータにつなぎかえるだけで、NSパックとして運転することが可能です。

注) 入力電源がAC200V 50/60Hz またはAC220V 60Hz の場合のみ可能な運転方法です。

インバータ駆動機能の後付けも可能

既にNSパックをお使いになっている場合は、別売りのインバータ制御ボックスキットを取り付け頂くことでインバータ駆動の機能を追加することが可能です。

安全停止機能を搭載

インバータの安全停止機能(STO)により、インバータ外部に安全遮断装置を設置せずに、システム安全規格*への対応が可能です。

(*EN ISO 13849-1 : 2006 PL=e Cat.3)

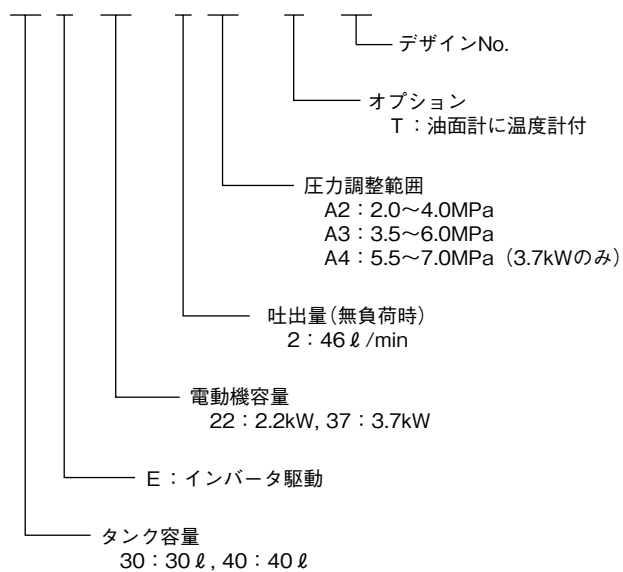
仕 様

1. 電源電圧	3φ AC200~220V、50/60Hz
2. 定格入力電流	13.4A/2.2kW 22.4A/3.7kW
3. 圧力調整範囲	A2 : 2.0~4.0MPa A3 : 3.5~6.0MPa A4 : 5.5~7.0MPa (3.7kWのみ)
4. 吐出量（無負荷時）	46 l/min
5. 作動油	一般鉱物系油圧作動油 ISO VG32相当
6. 油温	15~60℃の範囲でご使用ください。
7. 塗装色	マンセル値 N1（7分艶）
8. 周囲温度／湿度	10~35℃ / 20~85% RH（結露無きこと） （水溶性切削液のミストを避けてください。）

形 式 説 明

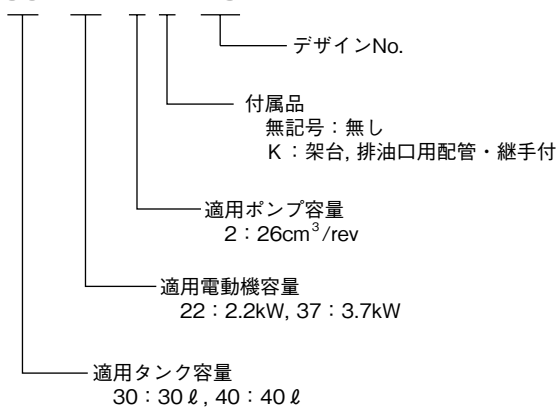
インバータ駆動NSパック

NSP-30 E-22 V 2 A2 - T -17



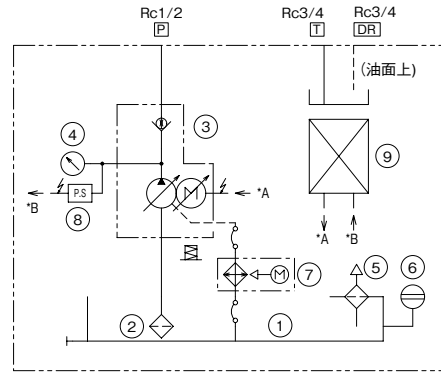
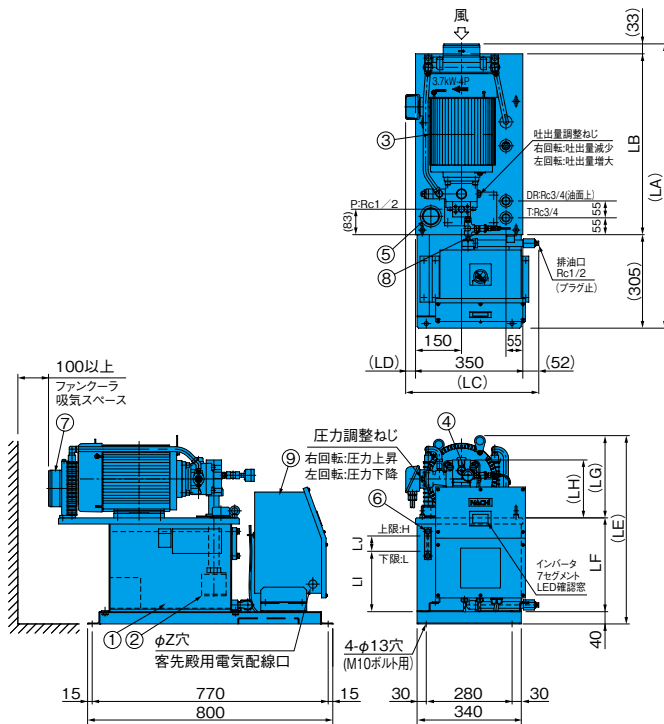
インバータ制御ボックスキット

EBK-30-22-2 K-23



外形図／寸法表

NSP-30E-**-V2A*-17



品番	部品名称	品番	部品名称
1	オイルタンク	6	油面計
2	サクションストレーナ	7	ファンクーラ
3	ユニポンプ	8	圧力センサ
4	圧力計	9	インバータ制御ボックス
5	注油口兼エアブリーザ		

形 式	寸 法											油 量		概算質量 (kg)
	LA	LB	LC	LD	LE	LF	LG	LH	LI	LJ	Z	H	L	
NSP-30E-22V2A*-17	903	565	405	3	587	306	241	224	197	50	21	30L	23L	101
NSP-30E-37V2A*-17	928	590	434	32	614		268	236			27			110
NSP-40E-22V2A*-17	903	565	405	3	666	385	241	224	256	70	21	40L	31L	106
NSP-40E-37V2A*-17	928	590	434	32	693		268	236			27			115

(作動油含まず)

使用上の注意

- 主回路電源の投入/遮断（配線用遮断器）による運転・停止はインバータの著しい寿命低下につながりますので、1時間に1回までとしてください。
なお、高頻度の運転・停止が必要な場合は、別途お問い合わせください。
- インバータのパラメータは、油圧ユニットの取扱説明書に記載のパラメータ以外の変更を行わないでください。
正常に動作しない恐れがあります。
- 油圧ユニットのPポート（吐出ポート）から外部マニホールドブロックまでは、内径1/2インチ、最高使用圧力14MPa用、長さ2m以上のフレキシブルホースにて配管してください。
- 最大ピーク圧力（設定圧力+サージ圧力）は13MPa以内にしてください。なお、最大ピーク圧力が13MPaを超える場合は、回路側にサージカット用リリーフバルブを設けてください。
- タンク内の油量変動は、油面計可視範囲内（30ℓ：約7ℓ、40ℓ：約9ℓ）でご使用ください。
- ファンクーラの吸気部と周囲との距離を100mm以上空けて設置してください。